

日野市戦後教育史 目次

序

日野市戦後教育史の刊行にあたって

監修のことば

本史編さんの基本方針

凡例

序章

目次	
日野の風土……………	2
教育の流れ……………	4
社会教育の流れ……………	6

題字 日野市長 森田 喜美男

次
第一期 混迷から新教育の発足

(敗戦より日野市制前 昭和二〇年〜三七年ごろまで)

目

概 説……………10

第一章 教育行財政

第一節 新教育方針と六・三制の発足……………12

一 占領下の教育……………12

二 新教育方針と教育体制……………14

三 六・三制の発足……………16

国民学校から小学校へ……………16

新制中学校の設置と課題……………18

迫られる校舎建築……………19

四 教職員組合の結成……………25

第二節 教育委員会の設置……………27

一 教育委員会法の制定……………27

二 教育委員の選挙……………29

三 教育委員会の発足……………30

四 地教法の発足と教育委員任命制……………32

五 教育関係法令の制定と日野の対応……………34

第三節 教職員に関する制度……………36

一 新教育に対応するための再教育……………36

二 教職員適格審査……………37

三 認定講習……………38

四 教職員の職務と待遇……………40

五 勤務評定……………42

六 学力調査……………44

七 教職員の研修・研究(奨励制度と研究委
託)……………45

八 新たな教職員の配置……………47

第四節 学校給食の開始……………50

一 戦後の食糧事情……………50

二 学校給食のはじまりと状況……………52

三 給食室の建築……………54

第五節 教育の広がり……………56

一 社会教育施設への着目……………57

二 科学教育センター……………58

三 奨学金制度の早期導入……………60

四 特殊学級の設置……………63

五 学校医の制度化……………65

第二章 小学校教育

第一節 敗戦と教育の再興……………68

一 授業の再開……………68

二 軍国主義教育の排除……………71

第二節 町・村立小学校の設置……………74

一 国民学校から小学校へ……………74

二 分校の独立と新設校……………79

第三節 新教育内容と指導……………84

一 学習指導要領と教育内容 試案・改
訂(一次)……………84

二 新教育内容への取り組み……………87

三 教育課程の編成と研究……………91

四 「わたしたちの日野」発刊と活用……………94

第四節 系統学習と指導……………96

一 学習指導要領の改訂(二次)……………96

二 基礎学力を重視した授業……………98

三 道徳の時間の特設……………99

四 科学技術教育の推進……………101

五 視聴覚教育の実践……………102

第五節 健康・安全教育……………104

一 学校保健委員会の発足と活動……………104

二 交通安全指導……………106

目 次

第六節 学校給食	108
一 学校給食の再開とミルク給食	108
二 学校給食の実施とその運営	110
第七節 児童の状況	112
一 日野町児童の体位・体力	112
二 健康状態	115
三 生活のようす	116
四 子ども貯蓄組合	117
五 夏季施設・修学旅行	119
第八節 教職員の研修・研究	120
一 研究奨励制度と研究テーマ	120
二 教員研究生・教科研究員	122
三 南多摩教育研究会	125
第九節 学校と家庭・地域	127
一 学校後援会から父母と教師の会 (PTA)へ	127
二 学校整備と保護者・地域住民の協力	130
三 私費負担の軽減	131
第三章 中学校教育	
第一節 新制中学校の発足と学校の状 況	133
一 新制中学校の発足	133
二 日野中学校	134
三 七生中学校	136
四 新しい中学校の開設(日野第二中学校)	139
第二節 教育内容と指導	141
一 学習指導要領(試案)・改訂(一次)	141
二 教育内容への取り組み	145
三 経験学習の重視	147
四 「私たちの郷土南多摩」の刊行と活用	148
第三節 系統学習への転換	150
一 学習指導要領の改訂(二次)	150
二 基礎学力を重視した授業	152

三 道徳の時間の特設	154
四 科学技術教育の推進	155
五 産業教育の振興	157
第四節 図書・視聴覚教育	159
一 学校図書館の開設と活用	159
二 映画教室	161
第五節 校外学習・修学旅行と夏季施設	162
一 多彩な校外学習	162
二 修学旅行の実施	163
三 夏季施設	165
第六節 生徒の状況	167
一 特別教育活動	167
二 生活指導	168
三 進学率の高まりと補習授業	170
四 都立高校入学者選抜制度の改正	173
第七節 教職員の研修・研究	175
一 教育研究奨励による研究テーマ	175
二 南多摩中学校教育研究会の活動	178
第八節 学校と家庭・地域	180
一 PTAの発足	180
二 保護者・地域住民の資金・労力奉仕	182
第四章 心身障害教育	
第一節 盲・ろう教育中心の障害教育 の実態	185
第二節 特殊学級開設の胎動、特殊教 育対策委員会の発足	187
一 教育制度の発足と知的障害児教育の 進展	187
二 戦後に再開された「特殊学級」	188
三 日野町の特殊教育対策委員会発足	189
第三節 特殊学級の開設	189
一 日野第三小学校特殊学級の発足	189
二 しあわせ学級(日野一中)の出發	190

第五章 幼稚園教育

- 第一節 新しい幼稚園制度 192
 - 一 幼稚園復活の通達 192
 - 二 新しい幼稚園制度の成立 194
- 第二節 公立幼稚園設置への動き 196
 - 一 日野町教育委員会の動き 196
 - 二 幼稚園の設置 198

第六章 社会教育

- 第一節 地域社会教育期 200
- 第二節 社会教育の振興 203
 - 一 社会教育の重要性 203
 - 二 社会教育体制の確立 206
 - 三 社会教育課の新設 211

第三節 町・村民の連帯と活動 213

- 一 青年団 213
- 二 婦人会 216
- 三 PTAの発足 218
- 四 地域の活動 220
 - (一) 戦災孤児と食糧不足 221
 - (二) 生活改善 222
 - (三) 堀之内農事研修会 223
- 五 子ども会 225
- 第四節 学習機会の台頭 227
 - 一 教育メディアの活用 227
 - 二 成人学校 229
 - 三 青年学級 232
 - 四 婦人学級 233
 - 五 文化団体の活動(日野史談会) 236

第二期 整備から発展へ

(日野市制より人口・学校急増期 昭和三八年〜五六年ごろまで)

概 説 240

第一章 教育行財政

- 第一節 市制施行 242
 - 一 人口急増 242
 - 二 財政状況 245
- 第二節 教育委員会の組織・機構 248
 - 一 組 織 248
 - 二 教育目標と指導の重点 250
 - 三 教育相談室の設置 252
 - 四 PTA公費負担の解消と教材教具の充足 253
- 五 機構改革 257

- 六 「日野の教育」発行と学校訪問 259
- 七 主任制度の実施 260

第三節 学校の新設と学区変更 262

- 一 滝合小学校の新設と中央線平山大踏切の横断(昭和四六年度開校) 263
- 二 開校と同時に教室不足に見舞われた平山台小学校(昭和五三年度開校) 265
- 三 「学校公害」と抗議された三沢台小学校の誕生(昭和五五年度開校) 266
- 第四節 公・私立幼稚園の開設 268
- 第五節 心身障害学級の新設と障害児の教育 270

- 一 心障学級・訪問学級・就学指導……………270
- 二 社会教育との関連……………274
- 第六節 教職員の研修・研究と厚生組織……………276
 - 一 日野市公立学校教育研究会……………276
 - 二 研究委託と奨励制度・授業研究……………277
 - 三 日野市教職員互助会の発足と発展……………285
- 第七節 社会教育施設の整備……………287
 - 一 市民プール……………287
 - 二 大成荘……………288
 - 三 市立図書館……………289
 - 四 中央公民館……………291
 - 五 多摩川グラウンド……………292
 - 六 学校開放……………293
 - 七 夜間照明……………294
 - 八 南平体育館……………296
 - 九 七生公会堂……………297
- 第八節 日野市学校保健会の設立……………298
- 第九節 日野市学校給食会の設立……………300

- 第一〇節 新たな課題……………303
 - 一 光化学スモッグ……………303
 - 二 学校警備……………304
 - 三 補助金の見直し……………306
 - 四 都立高校の誘致……………307
 - 五 教科書(学校採択から広域採択)……………309

第二章 小学校教育

- 第一節 相次ぐ小学校の建設……………312
 - (一) 日野第六小学校……………314
 - (二) 日野第八小学校……………314
 - (三) 百草台小学校……………315
 - (四) 滝合小学校……………315
 - (五) 高幡台小学校……………316
 - (六) 日野第七小学校……………316
 - (七) 南平小学校……………317
 - (八) 程久保小学校……………317
 - (九) 旭が丘小学校……………318

- (一〇) 平山台小学校……………318
- (一一) 東光寺小学校……………319
- (一二) 三沢台小学校……………319
- 第二節 教育内容の現代化……………320
 - 一 学習指導要領の改訂(三次)……………320
 - 二 「調和と統一」のある教育課程の編成……………322
 - 三 教育工学への関心……………324
 - 四 地域観察学習……………326
- 第三節 ゆとりと充実を求めて……………329
 - 一 学習指導要領の改訂(四次)……………329
 - 二 創意ある教育課程の編成……………331
 - 三 学校裁量時間の活用……………334
 - 四 学習指導法の工夫……………335
 - 五 生産・体験学習の実践……………337
- 第四節 学校行事……………339
 - 一 儀式的行事……………339
 - 二 周年行事……………342
 - 三 体育的・学芸的行事……………345

- 四 日光修学旅行(日光移動教室)……………348
- 五 夏季施設・その他……………349
- 第五節 連合行事……………351
 - 一 日野市連合行事・交流行事……………351
 - 二 水泳記録会……………353
 - 三 書き初め展・図工展……………356
 - 四 市民合唱祭……………358
 - 五 陸上記録会……………359
 - 六 球技大会(ミニバスケットボール)……………360
- 第六節 健康・安全教育……………361
 - 一 児童の体位・体力・肥満……………361
 - 二 光化学スモッグと公害教育……………364
 - 三 安全教育の推進と実践……………366
- 第七節 学校給食……………369
 - 一 給食指導……………369
 - 二 学校給食の研究……………371
 - 三 地場産業の活用……………374
- 第八節 児童の状況……………376

- 一 社会の変化に伴う児童の状況(鍵っ子・テレビっ子・学童クラブ).....376
- 二 落ちこぼれの論議と塾通い.....380
- 三 登校拒否といじめ.....382
- 第九節 教職員の研修・研究.....386
 - 一 幼・小・中学校(園)合同研究会.....386
 - 二 授業研究の発足と研究内容.....388
 - 三 授業研究連絡協議会の運営.....391
 - 四 管外派遣による研修.....393
- 第二〇節 学校と家庭・地域.....396
 - 一 学校と家庭の協力.....396
 - 二 公立学校PTA協議会の活動.....399
 - 三 地域の教育力(学校と家庭の連携).....401

第三章 中学校教育

- 第一節 新設五校の開校.....403

- (一) 日野第三中学校.....405
- (二) 日野第四中学校.....406
- (三) 三沢中学校.....406
- (四) 大坂上中学校.....407
- (五) 平山中学校.....407
- 幻と消えた中学校.....408
- 第二節 教育内容の現代化.....408
 - 一 学習指導要領の改訂(三次).....408
 - 二 指導内容を大幅に増加した授業.....411
 - 三 「のびゆく日野」の刊行と活用.....414
- 第三節 ゆとりと充実を求めて.....416
 - 一 学習指導要領の改訂(四次).....416
 - 二 指導内容を精選した授業.....419
 - 三 選択教科の授業.....421
- 第四節 学校行事.....424
 - 一 儀式的・学芸的・体育的行事の変せん.....424
 - 二 夏季施設.....426

- 三 校外学習・修学旅行・移動教室.....428
- 第五節 連合行事.....433
 - 一 書き初め展.....433
 - 二 音楽鑑賞教室.....434
 - 三 水泳記録会.....436
- 第六節 健康・安全教育.....438
 - 一 生徒の健康・体位・体力の実態.....438
 - 二 安全指導の推進.....445
- 第七節 学校給食.....447
 - 一 ミルク給食の実施.....447
 - 二 完全給食実施への動き.....448
- 第八節 生徒の状況.....451
 - 一 市内中学校進学率の推移.....451
 - 二 都立高等学校選抜制度の改正.....454
 - 三 生活指導連絡協議会と非行問題.....455
 - 四 クラブ活動と部活動の実態.....458
- 第九節 教職員の研修・研究.....460

- 一 授業研究と校内研究の内容.....460
- 二 中教研の発足と研究部の活動.....463
- 三 研究奨励事業と研究内容.....464
- 第一〇節 学校と家庭・地域.....467
 - 一 都立高校誘致運動.....467
 - 二 地区懇談会.....472

第四章 心身障害教育

- 第一節 都立七生養護学校設置までの経緯.....473
- 第二節 特殊学級推進協議会の組織と事業.....477
- 第三節 心身障害教育の推進.....482
 - 一 訪問学級の開設.....482
 - 二 新たな心障学級の設置.....486

第五章 幼稚園教育

第一節 市立幼稚園の開設	491
第二節 教育課程と指導の展開	494
一 幼稚園教育要領	494
二 教育目標と指導の重点(教育課程の編成)	497
三 年間指導計画	502
第三節 教師の研修	503
一 園指定の研究テーマと個人研究	503
二 市教研教育研究部の活動	505
三 その他の研究活動	507
第六章 社会教育	
第一節 社会教育整備期	510
一 社会教育の条件整備	510
二 社会変ほうと社会教育	511
第二節 社会環境の変化	512
一 集合住宅の建設	512
二 人口急増	514
三 日野町から日野市へ	516
第三節 社会教育総合計画	518
一 社会教育センター	518
二 文化協会の設立と活動	521
三 第一回産業まつり	523
四 学校開放	525
第五節 家庭教育への指針	526
一 家庭教育学級	526
二 家庭教育通信	528
第六節 社会教育施設の整備	533
一 中央公民館の開館	533
二 市民プールの開設	534
三 南平体育館の新設	537
四 七生公会堂の新設	541
第六節 市立図書館の出版	543
一 図書館の設立以前	543
二 図書館設置条例の制定	545

三 移動図書館による出版	546
四 分館設置から中央館建設へ	548
第七節 体育・スポーツの振興	550
一 体育課の新設	550
二 スポーツ振興法と体育指導委員	551
三 スポーツ教室	554
四 体育協会の設立と活躍	555
五 利用施設の拡充	558
第八節 文化財の保護と活用	561
一 史談会の再建	561
二 重要文化財	563
三 遺跡発掘調査	565
四 日野市史編さん	569

第三期 充実から多様化へ

(日野市教育委員会事務局機構改革以降 昭和五七年〜平成八年)

概 説	574
第一章 教育行財政	
第一節 学習基盤の確立	576
一 教育目標と教育予算	576
二 児童・生徒の状況と教育課題	579
三 生涯学習と市民の学習要求	581
四 日野市歌の誕生	583
五 幼児教育センターの出版	585
六 心身障害教育	587
七 児童の権利条約の批准と人権教育	588

第二節 学校教育への多様な取り組み	589
一 四〇人学級の実現に向けて	589
二 副読本の充実	593
三 外国人英語指導補助員の導入	600
四 社会人講師の導入	602
五 帰国子女の教育体制	604
六 学校図書館事務嘱託員制度の発足	606
七 相談学級の開設	608
八 学校週五日制への対応	611
九 いじめ一〇番の開設	613
第三節 学習環境の整備充実	614
一 生活科ゾーン	614
二 ランチルーム	617
三 中学校給食食堂方式	619
四 パソコン教室	621
五 教育相談室	623
六 日野第五小学校全面改築	624
七 余裕教室の活用	627

第四節 教職員の研修・研究	629
一 日野市教職員研究資料室の開設	629
二 日野市立教職員研究室の条例化	632
三 授業改善委員会の発足	634
四 地域教材の開発	635
五 初任者研修制度開始(新規採用者)	636

第五節 社会教育の整備・充実	638
一 新しい図書館(百草図書館)	638
二 市民会館の開設	639
三 スポーツ公園市民陸上競技場	642
四 ふるさと博物館	644
五 大成荘の改築と活用	645
六 青少年育成会	648
七 市P協・教育行政懇談会	650
八 地域で教育を語る夕べ	653
九 市民プールの全面改修	654
一〇 学校開放の自主管理方式	655

第二章 小学校教育

第一節 小学校の新設(仲田小学校)	657
第二節 個性重視の教育	658
一 学習指導要領の改訂(五次)	658
二 生活科の誕生	665
三 体験的な学習の実践	669
四 チーム・ティーチングの導入	671
五 社会人講師の活用	674
六 科学教育センターの運営	677
第三節 老人福祉教育の実践	679
一 副読本「ふれあい」の刊行と活用	679
二 老人とのふれあい活動の実践	682
第四節 環境教育の推進	684
一 環境副読本「美しいまち日野」の刊行	684
二 環境学習の実践	687
第五節 国際理解教育	688

一 アメリカンスクールとの交流活動	688
二 海外からの帰国子女の教育	691
三 外国人子女の日本語指導	692
四 国際理解教育の実践	695
第六節 健康安全教育と学校給食	697
一 疾病・異常の状況	697
二 学校保健会の研究活動	700
三 学校給食会の研究活動	701
四 学校事故防止・点検活動	702
五 新たな課題とその取り組み	705
六 性教育への取り組み	707
七 ランチルームと学校給食	710
第七節 児童の状況	712
一 学校図書館の活用	712
二 保健室登校の実態	714
三 教育相談の状況	716
第八節 教職員の研修・研究	719
一 授業改善委員会の取り組み	719

- 二 校内研究の充実……………722
- 三 日野市立教職員研究室の事業……………724
- 四 校長会・教頭会の研究(学校経営)……………727
- 五 市教研・授業研究の取り組み……………729
- 第九節 学校と家庭・地域……………732
 - 一 地域の教育力を活用した実践……………732
 - 二 学校だよりの定着……………736

第三章 中学校教育

- 第一節 個性重視の教育……………739
 - 一 学習指導要領の改訂(五次)……………739
 - 二 学校教育目標と指導の重点……………743
 - 三 選択教科の拡大と授業……………746
 - 四 体験学習の重視……………749
 - 五 パソコン教室の設置と情報教育……………753
 - 六 チーム・ティーチングの導入……………756
 - 七 社会人講師の活用……………758

- 第二節 老人福祉教育の実践……………761
 - 一 「老人とのふれあいを求めて」副読本の刊行……………761
 - 二 ふれあい活動の実践……………763

- 第三節 環境教育の推進……………765
 - 一 副読本「美しいまち日野」の刊行と利用……………765
 - 二 環境教育と結びついた勤労体験学習……………767
 - 三 学校におけるリサイクル活動……………768

- 第四節 国際理解教育……………769
 - 一 外国人英語指導補助員の導入……………769
 - 二 海外帰国子女の教育……………771
 - 三 生徒会における米国籍姉妹校との交流……………774

- 第五節 健康安全教育と学校給食……………777
 - 一 生徒の体位・体力・疾病・異常……………777
 - 二 安全教育……………782
 - 三 食堂自校方式による完全給食……………785

- 第六節 進路指導……………787
 - 一 生き方教育と進路指導……………787
 - 二 特色ある進路指導の実践……………789
 - 三 業者テストと偏差値教育の是正……………791
 - 四 都立高校入試制度の改正……………793

- 第九節 学校と地域・家庭……………820
 - 一 地域の教育力を生かした実践……………820
 - 二 育成会(青少協)との連携……………822
 - 三 諸機関との連携……………823
 - 四 「学校だよりによる家庭への啓発……………824

- 第七節 生徒の状況……………796
 - 一 生徒会サミット……………796
 - 二 活発な部活動の実態……………798
 - 三 生徒の手による学校行事の運行……………800
 - 四 生活指導上の諸問題……………802
 - 五 校則と生徒会……………804
 - 六 登校拒否生徒の増加状況と対応……………807

第四章 心身障害教育

- 第一節 情緒障害学級の開設と指導内容……………829
 - 一 設置の経緯と設置校(百草台小・七生中)……………829
 - 二 指導内容と指導の展開……………832

- 第二節 交流教育の推進……………833
 - 一 交流教育の実践……………833
 - 二 心身障害教育の地域理解……………836

- 第三節 日野市中心身障害教育推進協議会の活動……………838

- 第八節 教職員の研修・研究……………812
 - 一 研究奨励事業の研究内容……………812
 - 二 校内研究と研究テーマ……………813
 - 三 各種主任会の研究活動……………816
 - 四 中教研の研修活動……………818

- 第四節 就学相談の状況と課題……………842

第五章 幼稚園教育

目次

第一節 市立幼稚園の増設とその教育…………… 847

一 新しい幼稚園の開設…………… 847

二 専任園長制の導入…………… 849

三 教育目標と指導の重点・年間計画…………… 850

第二節 園児の状況…………… 852

一 年中行事…………… 852

二 遊 び…………… 856

第三節 教師の研修・研究…………… 858

一 園内の研究…………… 858

二 日野教研幼稚園部の研究…………… 862

第六章 社会教育

第一節 生涯学習と社会教育の多様化…………… 865

一 生涯学習施策の促進…………… 865

二 社会教育の多様化…………… 867

第二節 市民意識と学習要求…………… 869

一 意識調査にみる学習要求…………… 869

二 市民の利用と参加…………… 873

第三節 地域に生きる社会教育…………… 875

一 学習のフィールド…………… 875

二 市民サークル…………… 881

三 青少年問題協議会と育成会の誕生…………… 884

四 子ども会と地域活動…………… 887

第四節 家庭教育の拡充…………… 889

一 家庭教育学級の見直し…………… 889

二 家庭教育相談…………… 891

三 幼児の親子教室…………… 893

四 家庭教育通信…………… 895

第五節 青少年教育…………… 896

一 青年教育…………… 896

二 子ども会連合会との関連…………… 897

三 障害者教育…………… 898

第六節 成人教育…………… 902

一 婦人学級…………… 903

二 ことぶき大学…………… 904

第七節 市立図書館の発展と課題…………… 908

一 どういう図書館か…………… 908

二 図書館利用の増大と推移…………… 910

三 図書館サービスの深化…………… 912

四 今後の課題…………… 913

第八節 公民館の活動と利用…………… 915

一 活動内容…………… 915

二 利用状況…………… 919

第九節 ふるさと博物館…………… 921

一 開設と利用状況…………… 921

二 企画展…………… 922

三 学校との連携…………… 925

第一〇節 体育・スポーツの発展…………… 926

一 施設の拡充(スポーツ公園・市民プール他)…………… 926

二 各種競技やイベント…………… 932

第一一節 文化活動と市民会館の開設…………… 936

一 市民文化祭…………… 936

二 学習とふれあい…………… 940

第二二節 幼児教育センターの設立…………… 943

一 設立の経緯…………… 943

二 研究活動の概略…………… 944

三 これからの幼児教育…………… 947

終章

日野市の教育のために……………	950
教育行財政の課題と展望……………	950
学校教育の課題と展望……………	952
社会教育の課題と展望……………	954
教育座談会「日野の教育の足跡と展望」……………	957
日野市戦後教育史年表……………	965
主要参考文献・資料……………	
編さん関係者……………	
編さん委員・編集委員・執筆者・協力者・機関……………	
日野市戦後教育史の編集を終えて……………	

Q & A

1	でも・しか先生……………	122
2	多摩動物公園と市民生活との関連……………	208
3	学校建設と国庫補助金……………	246
4	さやか学級（病院内学級）……………	488
5	学級編制と教員定数……………	592
6	教員加配制度の意味と背景……………	662
7	中学校の性教育……………	782
8	幼児教育の広がり求めて……………	850
9	市域・近隣の大学と市民生活……………	878

序章